

自動車・モビリティグループ



Our Vision



常務執行役員
自動車・モビリティ
グループCEO

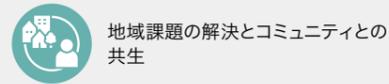
若林 茂

長年にわたって築き上げてきた当社の強固なビジネス・顧客基盤を生かし、ヒトやモノの移動に関する課題を解決するビジネスモデルを構築します。EX・DX 一体推進による自動車・モビリティ・サービスの提供を通じ、顧客の生活・人生を豊かにするとともに地球環境の維持に貢献し、三価値同時実現を目指します。



マテリアリティ

関連するマテリアリティ



事業とマテリアリティとの関連性

自動車産業においては、低・脱炭素化の進展に伴い低環境負荷車両へのシフトが進み、また人々の自動車保有に対する価値観の変化から構造的な変革が起きています。

当グループはこのような外部環境の変化の中で、協業するメーカーの戦略的パートナーとして、環境に配慮した次世代自動車(クリーン燃料を含む)の拡販に寄与することを通じて脱炭素社会実現に向けて貢献していきます。さらに低・脱炭素化への取り組みとして、当社の総合力を生かすべく社内他営業グループと連携し、モビリティ事業とEXを組み合わせたEVフリートマネジメント構想の実現を推進していく方針です。

また過疎化が進む地域社会においては、交通の合理化の観点からオンデマンド交通の必要性も高まっており、デジタル技術を活用したサービスの普及が求められています。当グループは、長年培ってきた機能と地域密着型ネットワークの構築力といった事業基盤をさらに強化し、モビリティ・サービス事業を通じて社会課題の解決に取り組むことで、当社事業の持続可能性を担保していきます。

グループの強み・戦略

グループの強み

- ・長年にわたる三菱自動車工業(株)、いすゞ自動車(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)との強固なパートナーシップ
- ・ASEANをはじめ世界各国においてグローバルに築き上げてきた、生産・販売・販売金融・アフターセールス等の自動車バリューチェーン事業の強固なビジネス・顧客基盤
- ・幅広いグローバルネットワークによる豊富な知見・ノウハウ

中期経営戦略2021総括

自動車バリューチェーン事業では、ASEANでの新車投入やデジタルマーケティング等による販売力強化を実施し、事業投資先において着実に収益を上げられる体制を構築しました。また、ASEAN等新興国においてマルチブランド川下事業(フリートマネジメント、アフターセールス、eコマース、オークション等)に事業領域を拡大しました。さらに、AI活用型オンデマンドバス事業等を通じた国内地域交通DXを推進しました。

中期経営戦略2024における戦略

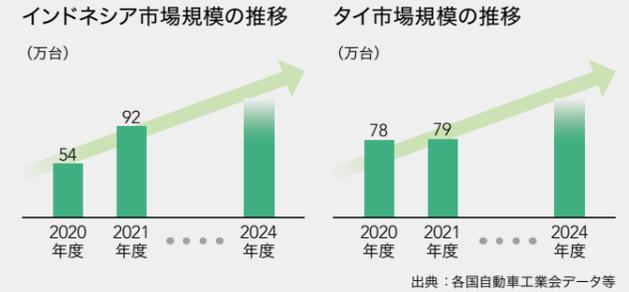
自動車バリューチェーン事業のさらなる機能強化と川下領域へのビジネスモデル伸長・変革を目指すとともに、モビリティ・サービス事業を「収益の柱」に育成することを目指します。またEX・DX 一体推進を武器に、自動車・モビリティサービスの普及によって顧客の生活・人生を豊かにするとともに地球環境の維持に貢献し、三価値同時実現を図ります。

今後の成長見通し

低・脱炭素化に伴う自動車の電動化や輸送燃料・エネルギーの多様化が進むと予想される中、協業するメーカーと連携した商品企画や、ビジネス・顧客基盤を生かした事業開発を推進し、バリューチェーン事業のさらなる進化・深化を図ります。また所有から利用へと意識が変化する中、効率的でクリーンな移動手段の継続的な提供を通じ、ヒトやモノの移動に関する課題を解決し、引き続き三価値同時実現を図っていきます。

主要な成長ドライバー

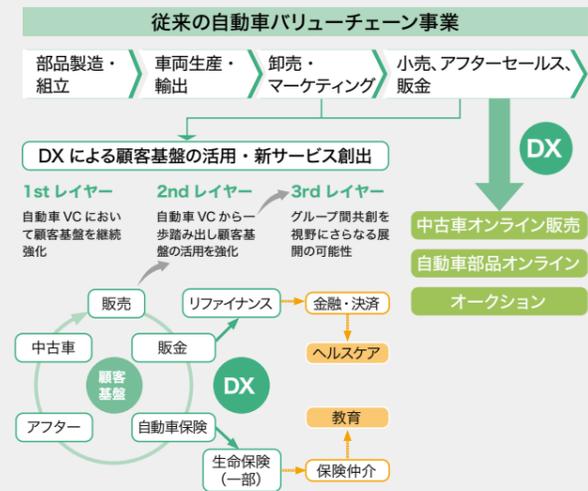
当グループは、インドネシア・タイにおいて50年以上にわたる自動車バリューチェーン事業の実績を有しています。今後需要の回復、伸長が期待されるインドネシア・タイ市場において引き続き販売やアフターサービス事業に取り組むとともに、これまで培ってきた強固な事業基盤を生かし、金融・保険等のサービス・事業開発等、「顧客基盤」のさらなる強化や自動車バリューチェーン事業における川下分野へのビジネスモデルの伸長・変革を目指します。またそこから一歩踏み出した、グループ間共創も見据えた「顧客基盤」の活用に取り組むことでさらなる成長へとつなげていきます。



ビジネスモデルの事例

自動車バリューチェーン事業におけるDXの取り組み

重要市場のインドネシア・タイを中心とした自動車バリューチェーン事業の中核を担う販売・アフターセールス分野では、長年の販売・マーケティング活動を通じて蓄積した顧客基盤をてこに、各種デジタルマーケティング施策によるDXの推進を行い、新たなサービスの創出を図っています。また川下マルチブランド事業の強化として、フリートマネジメント、メンテナンス、中古車EC事業を軸にビジネスモデルを構築中であり、中古車販売のオークション・マッチングサイト等の事業運営にも取り組んでいます。



モビリティ・サービスにおけるDXの取り組み

車の「所有」から「利用」への流れが進む中、新たな移動手段を提供しながら、地域社会や交通事業者が抱える「移動」に関わる課題解決に取り組んでいます(地域交通DX)。

2019年から西日本鉄道(株)と共同で、AI活用型オンデマンドバス「のるーと」を運行しています。決まったダイヤやルートはなく、AIを活用した柔軟なルート設定・運用により、利用客の利便性と運行の効率性を両立させます。

2020年からは、全国の地域・交通事業者に対して「のるーと」の仕組みやノウハウの提供を開始。オンデマンドバス事業の拡大を後押しして、地域交通の課題解決に貢献していきます。

